

2019年7月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社
 コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 湯本 康人
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-712-7100

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	70,367	10.0	10,386	8.8	15,377	8.4	11,415	6.2
2019年3月期第1四半期	63,947	1.6	9,547	0.5	14,180	1.5	10,750	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 10,950百万円 (6.1%) 2019年3月期第1四半期 11,659百万円 (5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	67.44	
2019年3月期第1四半期	63.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	855,846	412,725	46.6
2019年3月期	853,025	402,901	45.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 398,916百万円 2019年3月期 389,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		7.50		9.50	17.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		8.50		8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,300	6.5	17,800	0.3	24,800	7.8	17,900	12.8	105.75
通期	280,300	7.2	32,300	2.2	45,500	10.3	32,700	15.4	193.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	172,411,185 株	2019年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,141,685 株	2019年3月期	3,141,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	169,269,500 株	2019年3月期1Q	169,269,588 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報)	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さが見られ、企業収益の改善に足跡が見られたものの、個人消費や雇用情勢が改善するなど、緩やかに回復いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。

その結果、営業収益は703億6千7百万円（前年同期比10.0%増）となり、営業利益は103億8千6百万円（前年同期比8.8%増）となりました。経常利益は153億7千7百万円（前年同期比8.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億1千5百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、成田空港駅のホームドア設置工事に着手したほか、塩害対策として進めていた配電設備の部材を耐塩型に交換する工事が全線で完了いたしました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、仮下り線工事を推進いたしました。

営業面では、「平成」から「令和」への改元を記念した記念乗車券を発売し、盛況のうちに完売となりました。また、市川真間駅の駅名看板を期間限定で「市川ママ駅」に変更し地元商店街とともに母の日記念イベントを開催したほか、沿線施設でのオペラ公演PRの一環として京成上野駅のコンコースにおいて劇中使用曲をBGMとして放送するなど、沿線地域と連携した施策に取り組みました。さらに、相互利用の促進を目的に、航空会社とタイアップキャンペーンを実施いたしました。

バス事業では、東京駅直結の八重洲地下街に「東京駅 京成高速バス案内カウンター」を開設し、お客様の利便性向上及び都心における認知度アップを図りました。

タクシー事業では、経営基盤の強化及び経営の効率化を図るため、昨年度から引き続き実施しているグループ会社の再編を推進し、「京成タクシー松戸東」、「京成タクシー東葛」が6月に営業を開始いたしました。

以上の結果、営業収益は398億9百万円（前年同期比4.3%増）となりましたが、営業利益は73億1百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

<流通業>

百貨店業では、各種イベントを開催するなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、コンビニエンスストアにおける収益拡大を図るため、成田空港駅の店舗をリニューアルしたほか、ちはら台駅に新店舗をオープンいたしました。

しかしながら、営業収益は172億6千2百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業利益は2億6千9百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、中高層住宅「サングランデ津田沼」を全戸完売したほか、中高層住宅「サングランデザ・レジデンス千葉(イーストレジデンス)」を全戸引き渡しいたしました。

不動産賃貸業では、2021年度のオープンを目指し、墨田区江東橋において、「京成リッチモンドホテル」2号店の工事に着手いたしました。

以上の結果、営業収益は82億1千5百万円（前年同期比64.8%増）となり、営業利益は25億7千4百万円（前年同期比56.5%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

ホテル業では、京成ホテルミラマーレ及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、各種宿泊プランを企画するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

飲食業では、事業拡張のため「サブウェイ ニッケコルトンプラザ店」の営業権を取得いたしました。

以上の結果、営業収益は23億4千7百万円（前年同期比6.1%増）となりましたが、営業利益は1千9百万円（前年同期比54.1%減）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事のほか、当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

また、収益力向上のため、千葉県下で事業を展開している建設会社の全株式を取得し、子会社化いたしました。

以上の結果、営業収益は47億8千9百万円（前年同期比42.3%増）となりましたが、営業利益は1億6千4百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比28億2千万円（0.3%）増の8,558億4千6百万円となりました。これは、「現金及び預金」が増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比70億4百万円（1.6%）減の4,431億2千万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比98億2千4百万円（2.4%）増の4,127億2千5百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2019年4月26日に発表しました数値と変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,214	30,851
受取手形及び売掛金	22,325	20,725
分譲土地建物	7,564	5,687
商品	2,135	2,247
仕掛品	647	1,095
原材料及び貯蔵品	2,751	2,768
その他	11,822	8,378
貸倒引当金	△33	△35
流動資産合計	72,428	71,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	279,404	276,929
機械装置及び運搬具(純額)	21,786	21,089
土地	164,018	168,646
リース資産(純額)	33,072	32,454
建設仮勘定	31,145	31,118
その他(純額)	2,657	2,586
有形固定資産合計	532,084	532,824
無形固定資産		
リース資産	1,368	1,328
その他	9,434	9,189
無形固定資産合計	10,802	10,518
投資その他の資産		
投資有価証券	219,354	221,983
長期貸付金	579	581
繰延税金資産	13,763	14,251
その他	3,871	3,836
貸倒引当金	△131	△131
投資その他の資産合計	237,437	240,520
固定資産合計	780,324	783,862
繰延資産	272	263
資産合計	853,025	855,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,864	13,478
短期借入金	63,474	51,718
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	5,043	5,077
未払法人税等	5,548	3,413
前受金	20,727	24,470
賞与引当金	3,038	1,902
役員賞与引当金	37	4
その他	35,157	49,798
流動負債合計	163,891	149,865
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	108,289	116,084
鉄道・運輸機構長期未払金	49,470	49,470
リース債務	21,956	21,304
繰延税金負債	1,538	1,506
役員退職慰労引当金	318	278
退職給付に係る負債	33,218	33,195
その他	11,440	11,413
固定負債合計	286,233	293,255
負債合計	450,124	443,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,548	28,549
利益剰余金	322,842	333,257
自己株式	△2,050	△2,050
株主資本合計	386,144	396,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,730	3,740
繰延ヘッジ損益	—	△1
退職給付に係る調整累計額	△1,410	△1,383
その他の包括利益累計額合計	3,319	2,355
非支配株主持分	13,436	13,809
純資産合計	402,901	412,725
負債純資産合計	853,025	855,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	63,947	70,367
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	45,526	50,313
販売費及び一般管理費	8,874	9,667
営業費合計	54,400	59,980
営業利益	9,547	10,386
営業外収益		
受取利息	35	34
受取配当金	157	231
持分法による投資利益	4,867	5,230
雑収入	347	368
営業外収益合計	5,407	5,864
営業外費用		
支払利息	619	619
雑支出	155	254
営業外費用合計	775	873
経常利益	14,180	15,377
特別利益		
工事負担金等受入額	664	92
その他	1	—
特別利益合計	665	92
特別損失		
固定資産除却損	36	67
固定資産圧縮損	616	66
その他	6	—
特別損失合計	659	133
税金等調整前四半期純利益	14,186	15,336
法人税、住民税及び事業税	3,464	3,745
法人税等調整額	△548	△324
法人税等合計	2,916	3,421
四半期純利益	11,270	11,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	519	500
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,750	11,415

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	11,270	11,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	△477
退職給付に係る調整額	7	39
持分法適用会社に対する持分相当額	284	△527
その他の包括利益合計	388	△965
四半期包括利益	11,659	10,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,140	10,451
非支配株主に係る四半期包括利益	518	499

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	37,925	17,208	3,659	1,570	2,690	893	63,947	—	63,947
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	256	81	1,324	642	676	638	3,620	△3,620	—
計	38,182	17,289	4,984	2,213	3,366	1,532	67,568	△3,620	63,947
セグメント利益	7,386	270	1,645	42	183	0	9,528	18	9,547

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	39,552	17,176	6,861	1,655	3,950	1,169	70,367	—	70,367
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	257	86	1,353	692	838	734	3,962	△3,962	—
計	39,809	17,262	8,215	2,347	4,789	1,904	74,329	△3,962	70,367
セグメント利益	7,301	269	2,574	19	164	57	10,388	△1	10,386

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

(単位:千人、百万円)

区 分	当第1四半期 累計期間	前年同期	増 減	増減率 (%)
輸 送 人 員				
定 期	44,792	44,490	302	0.7
定 期 外	30,911	29,972	939	3.1
計	75,703	74,462	1,241	1.7
(うち 成田空港発着)	5,555	5,168	387	7.5
(うち 有料特急)	1,571	1,452	119	8.2
旅 客 運 輸 収 入				
定 期	5,512	5,486	26	0.5
定 期 外	11,277	10,723	554	5.2
計	16,790	16,210	580	3.6
(うち 成田空港発着)	5,434	4,995	439	8.8
(うち 有料特急)	1,493	1,379	114	8.3

(注) 輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。